



えほんスクラップ No.66

～秋田市立図書館から2か月に一度、絵本の情報をお届けします～
2024年4月発行



あたらしい えほん



「とっくん」

駒形克己／作
福音館書店

対象年齢：0才から
出版年：2024年2月



「とくっ とっくん」「どっどっ どっどっ」「すんすん すんすんすん」とリズムよく音が聞こえてきますよ。心臓の音かな？変化していくふしぎな形が色あざやかに描かれています。赤ちゃんがさわって楽しめる穴あきの絵本です。(Eコ)

「ミニカーたんけんたい」

関根知未／作
アリス館

対象年齢：1才から
出版年：2023年12月



おもちゃのミニカーたちが、ひみつのたんけんにしゅっぱつしんこう！テーブルにのぼってくだものを見つけたり、ねずみさんに出会ったり、絵の具でおえかきもしちゃいます。おうちの中には楽しいことがいっぱい。(Eセ)

「ここがいちばんすきだから」

デイヴィッド・ウォーカー
／文・絵
福本友美子／訳 岩崎書店

対象年齢：3才から
出版年：2023年12月



もしも、ぼくがちがうぼくになるなら、なにがいいかな？きつねになって、森の中をかけまわる？くまになって、みんなを「ガオー！」ってこわがらせちゃおうか？とりになって、とんでいくのもいいかも。でも、やっぱりぼくはね…。(Eウ)

「あかい たまご？ だれの たまご？」

アデレイド・ホール／作
ロジャー・デュボアザン／絵
こみやゆう／訳 好学社

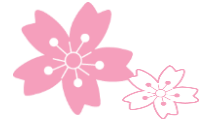
対象年齢：6才から
出版年：2023年12月



1羽のオオバンが、池のほとりで巣を作っていました。できあがるまであと少しという時、巣の中に赤い大きなまるいものが入っていたのです。オオバンは、「いったいだれ!？」とおこりますが、まわりの鳥たちは、だれも知らないと言うのです。(Eデ)



あたらしい えほん



「さいこうにさいこうの プレゼント」

ペトル・ホラチェック／作
青山南／訳 化学同人
対象年齢：3才から
出版年：2024年1月



カルロとロルカは大のなかよし。今日はふたりのたんじょう日です。カルロはきれいな羽を、ロルカはビー玉を、それぞれ相手にプレゼントしました。でも本当にあげたかったものは、もっともっとすごいものだったのです。ふたりにとっての最高のプレゼントとは？
(Eホ)

「おやすみまくら」

斉藤倫・うきまる／文
牧野千穂／絵 小学館
対象年齢：4才から
出版年：2023年12月



まだねむりたくない、ねこのこねんこさん。そこへ「わたしをまくらにどうでしょう」とあひるがやってきました。ふわふわでやわらかい羽毛に、こねんこさんは夢の中へ…。気づくとそこは森の入口で、大きなきのこが「まくらにどうぞ」と話しかけてきました。
(Eマ)

「海辺の村のパン屋」

ポーラ・ホワイト／作
いけださちこ／訳 BL出版
対象年齢：5才から
出版年：2024年1月



ぼくのくらす海辺の村では、漁師が魚をとり、とった魚は女の人たちがさばき、たるに入れて塩漬けにする。帆職人や船大工、あみ職人にロープ職人もいて、みんなが海を中心にして一生懸命働いている。それなのにどうしてぼくの父さんはパン屋なんだろう？
(Eホ)

「100ぴきかぞく ゆうえんちへいく」

古沢たつお／作 大日本図書
対象年齢：3才から
出版年：2023年11月



100ぴきのねこの家族がバスに乗って遊園地にやってきました。コーヒーカップや回転ブランコに乗ったり、ステージで歌ったりおどったり、みんなでおべんとうを食べたりと大さわぎです。気になるだれかをページごとにさがしてみるのも楽しいですね。(Eフ)



読みつがれている えほん



「ふたりはいっしょ」

アーノルド・ローベル／作
三木卓／訳 文化出版局
対象年齢：5才から
出版年：1972年



がまくんとかえるくんは大のなかよし。おさんぽしたり、ごはんを食べたり、毎日一緒に過ごしています。「よていひょう」「はやくめをだせ」「クッキー」など二人の間で繰り広げられる日常が愛おしくなる5編のお話。がまくんとかえるくんシリーズ第2弾です。
(Eロ)

「とん ことり」

筒井頼子／作 林明子／絵
福音館書店
対象年齢：4才から
出版年：1986年4月



知らないまちへ引っ越してきたかなえ。荷物の整理をしていると、玄関から「とん ことり」と小さな音がして、すみれの花束が落ちていました。いったい誰が届けてくれたのでしょうか？新しい生活にドキドキしている子どもの心が優しいタッチで描かれています。
(Eハ)